

和泉図書館におけるリテラシー教育講座 「ゼミガイダンス」の運営と開催

— 2012 年実施報告とともに —

篠 麻子*

1 はじめに

明治大学和泉キャンパスに通う学生は、大多数が文系1・2年生である¹。したがって、同キャンパス内における和泉図書館では「まずは図書館に来館してもらう」から始まり、「資料の検索の基礎の習得」、そして今後必要となってくる「レポートの書き方」等をサポートする様々な講座や企画を開催している。その中でも、特に長期間継続的に開催され、教員からも支持されている「ゼミガイダンス」について、2012年度の報告も兼ねて紹介したい。

*しの・あさこ／明治大学 学術・社会連携部 和泉図書館事務室

¹現在、明治大学和泉キャンパスに通う学生は、約12000名。明治大学全体の学生数は、約33000名である。(2013年1月31日集計による。)

2 和泉図書館ゼミガイダンス概要（2012 年前期・後期）

2.1 設備・事前準備

2012 年 5 月 1 日、新・和泉図書館オープン²に伴い、1F に「情報リテラシー室」が 3 室つくられた（図 1）。そのうち、可動式の机と椅子が 30 セット、ノートパソコン 36 台が入ったパソコンロッカーが設置されている 2 部屋を使用することとした（写真 1）。各部屋には講師用プロジェクター、無線 LAN も設備されており、以前に比べ非常に整った環境で、ゼミガイダンスを行えることになった。また、代替施設が手狭のため中止していた館内ツアーも再開した。

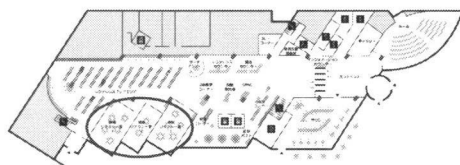


図1 情報リテラシー室
1F エントランスから入り、奥の3部屋が新しくつくられた情報リテラシー室。



写真1 情報リテラシー室1
3つの部屋はガラス張りになっているため、授業風景等が館内・外から見える。

例年、通算 100 回を越える開催のため、専任職員 6 名に加え、嘱託職員 1 名、明大サポートスタッフ約 15 名にも協力を得ている。「館内ツアー」「検索実習・通常版」「検索実習・法律版（検索する書籍・論文が法律関係）」の 3 つのマニュアルを事前に作成し、読み込み、研修をそれぞれ行っている。

2.2 募集・受付

和泉図書館で開催するゼミガイダンスは、専任・兼任にかかわらず和泉

²総面積 8856.92㎡、総座席数 1259 席となり、旧図書館と比べ面積・座席共に増加した。コンセプトは「入ってみたいくなる滞在型図書館」

キャンパスで授業を持っている教員すべてを対象とし、教員からゼミ・演習授業の1コマ単位で受付をしている。和泉キャンパスには対象の教員が約1200名（専任教員約200名、兼任教員約1000名）が在籍しており、2012年度は、前期開催向けに3月30日、後期開催向けに7月27日に対象教員すべてのポストに申込用紙（資料1）のポスティングを行った。

申し込みは、電話で事前に時間を確保する「仮予約」は可としているが、その後、必ずレファレンスカウンターに来てもらい、ガイダンス内容を話し合った上で、予約確定としている（写真2）。かつては、すべてを図書館員が担当し、教員が不在での開催もあったが、ここ数年は「ゼミガイダンスは教員の授業の一部」という前提で、必ず教員も一緒に受講することとなっている。

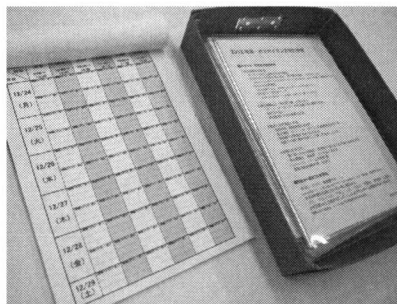


写真2 受付簿
教員が持参した申込用紙に照らし合わせ、希望の日時が空いているか確認する。

申込用紙には、ある程度の授業内容の提案が記してあるが、教員との話し合いにより、90分の授業内でフレキシブルに対応（例えば、館内ツアーは短めにする、その授業で調べていることに沿った検索内容にする、必要データベースの紹介を行うなど）することとしている。受け付けたものは、すべてExcelにデータ化をし、内容によって担当者（2009年度後期以降は筆者）が、個々のゼミガイダンス担当者の振り分けを行う。振り分けは、学生の人数、内容、時間帯等、総合的に判断するが、基本的には標準内容のものは明大サポートスタッフに委託をしている。

2.3 実施

現在の大まかな流れは、90分授業の内、前半に館内ツアー、後半に検索実習を行う。ゼミガイダンスを開始した2002年当時は、館内ツアーがメインだったが、毎年改良を重ね現在の形となった。

ゼミガイダンスの実施前には、人数分のノートパソコンと配布物を事前に学生用の机の上にセッティングしておく。配布物は、図書館開館カレンダー、図書館利用・検索基礎紹介のプリント2枚（資料2）を配布している（写真3）。内容に関わらず受講クラスが法学部の場合は、法律関連のプリントを1枚（資料3）追加している。また、各情報リテラシー室前には、デジタルサイネージが設置されている。このモニターに各ゼミガイダンスに参加するクラス名、教員名を表示することで来館した学生がスムーズに入室できるようにしている（写真4）。

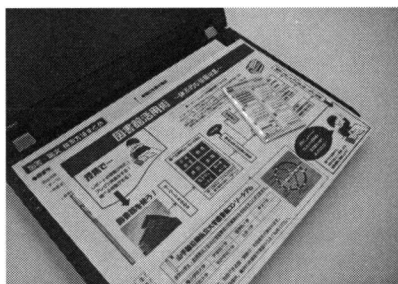


写真3 配布資料

すぐに授業を開始できるように、事前にパソコン上に配布資料をセットしておく。

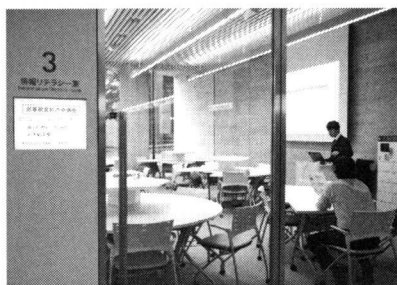


写真4 デジタルサイネージ

入口に、教員名・開始時間等を表示。時間になると提示されるように設定しておく。

授業開始時間になり、部屋に教員と学生が集合し、教員から授業前の簡単な説明の後、図書館へとボタンタッチされる形となる。初めに「なぜ、資料を集めるのに図書館が重要なのか」を話し、館内ツアーへと出発する。2012年当初は、1人で1クラス全員の館内ツアーを担当することも多かった。しかし、多人数のクラスの場合30人を超えることもあり、「学生全員に話が通りづらい」「移動に時間がかかる」と判断し、途中からは15人以上の場合は2チームに分け、館内を回ることとした。これにより、ガイダンスを担当する図書館員は多く必要となったが、学生に説明が伝わりやすく、移動の時間も短縮することに成功した。館内ツアーは、標準的なもの（館内1～4階をすべて案内）で約40分を要する。基本的な館内施設の使い方や資料の場所、貸し出し方法を実際に一緒に確認しながら説明を行う。

館内ツアー後、部屋にもどり、検索実習に入る。図書（タイトル検索、キーワード検索、他地区からの取り寄せ・予約、明治大学に所蔵しない場合の

検索方法等)、雑誌(タイトル検索、巻号の確認等)、雑誌論文(CiNii)の順で、実習を踏まえながら説明を行う(写真5)。講師は、パソコンの画面をプロジェクターで投影するとともに、実際の図書・雑誌等も書画カメラで投影し、画面を切り替えながら講義を進める。さらにオプションとして事前に外部データベースの検索指導の希望があった場合、「聞蔵(朝日新聞)」や「日経テレコン(日経4紙・企業検索)」、「法律文献判例情報」、「LEX/DB インターネット」、「Web of Science」等の説明を行っている。オプションと位置づけられてはいるが、多くの教員が上記の外部データベースを1～2つ組み合わせての授業を要望する。

館内ツアーを2名体制で行うこともあるが、1つの授業としての一貫性を持たせるために、基本的には同じ図書館員が館内ツアーと検索実習を通して担当するようにしている。授業終了後、次の授業が入っている場合は、すぐに次の授業の準備へと切り替える。

特に、新図書館がオープンした2012年前期には、例年4月下旬か



写真5 ゼミガイダンスの様子(講師は筆者)
学生も一緒にパソコンで操作をしながら、検索方法を学ぶことができる。

らゼミガイダンスが開始されるが、5月下旬からの開催となったために、毎年、前期に依頼する教員が一斉に申し込むという事態に陥った。その結果、開始の2週間で92回のゼミガイダンスを開催することとなった。より円滑にゼミガイダンスを開催するには、事前の基本マニュアルの読み込みはもちろん、教員の申し込み時、レファレンスカウンターでの聞き取りが非常に重要になってくることを改めて実感した。

3 開催統計・報告

2005年度より、ゼミガイダンスの詳しい統計をとっている。2012年度後期までの統計を以下の項目ごとに報告する。2005年度から2010年度前期までは「旧図書館(写真6)」、2010年度後期から2011年度後期までは「代

替施設（写真7）」、2012年度は「新図書館（写真8）」での実施分となる。

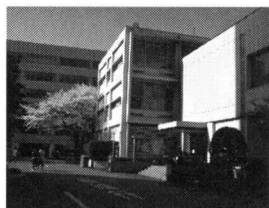


写真6 和泉図書館の移り変わり
旧図書館



写真7 和泉図書館の移り変わり
代替施設



写真8 和泉図書館の移り変わり
新図書館

3.1 実施回数・参加人数

ゼミガイダンスを実施している期間は、年によってばらつきがあるが、前期は約1ヶ月半から2ヶ月半の開催（通常4月下旬からの実施）、後期は約1ヶ月の開催（通常9月下旬からの実施）となっている（表1）。

表1 ゼミガイダンス開催実績

前期開催					後期開催				
	学生参加 人数	授業回数	のべ時間 (時間)	のべ要員 ※()内は職員		学生参加 人数	授業回数	のべ時間 (時間)	のべ要員 ()内は職員
2005年度	1,716	92	109	160(107)	2005年度	368	22	22	33(24)
2006年度	1,826	101	128	187(120)	2006年度	590	29	30	49(35)
2007年度	1,839	96	114	301(241)	2007年度	702	46	54	77(58)
2008年度	2,273	131	127	364(266)	2008年度	643	43	47	69(42)
2009年度	2,098	125	155	313(144)	2009年度	706	46	49	80(23)
2010年度	2,106	114	114	308(121)	2010年度	542	33	33	76(54)
2011年度	1,317	87	104	239(164)	2011年度	788	46	57	132(82)
2012年度	2,262	154	208	395(229)	2012年度	938	57	76.7	160(97)

※開催期間は年によって多少異なる。

2007年度より、のべ要員が増加しているのは、館内ツアーの担当者を2～4名に増やしているからでる。また、2011年度は、代替施設での実施であり、開催可能な部屋が1つに限られたため、前期のゼミガイダンスの受付回数を減らし、教員には極力後期に申し込みをしていただくようお願いをした。2012年度は、新図書館オープンに伴い、今までゼミガイダンスに申し込んでこなかったような教員にも興味を持ってもらうことに成功し、

開催回数が増大した。

また、前期・後期のゼミガイダンス実施回数を見ると、前期のほうが後期よりも回数が圧倒的に多い。基本的には、前期の開催がメインとなっており、後期開催のものは、より専門的なデータベースの説明をオプションで求められることが多い。

2.2 学部別

和泉キャンパスに通う学生のうち、以下の表2にある、法学部から情報コミュニケーション学部（表中表記：情コミ）の学生はすべて1・2年生である。国際日本学部（表中表記：国日）は、2008年に新設した新学部であり、現在では1～4年生が在籍している³。

表2 学部別ゼミガイダンス申込み

前期開催

	法	商	政経	文	経営	情コミ	国日	全
2005年度	22	24	12	8	7	19	—	0
2006年度	29	27	6	15	7	17	—	0
2007年度	29	27	6	12	6	16	—	0
2008年度	36	35	10	27	6	15	2	0
2009年度	34	33	8	21	6	14	8	1
2010年度	39	21	6	22	3	16	7	0
2011年度	27	16	5	19	6	10	4	0
2012年度	42	18	15	31	6	24	14	4

後期開催

	法	商	政経	文	経営	情コミ	国日	全
2005年度	5	12	0	3	2	0	—	0
2006年度	10	11	1	5	1	1	—	0
2007年度	19	17	0	6	3	1	—	0
2008年度	12	17	0	9	3	1	1	0
2009年度	20	11	1	6	1	4	3	0
2010年度	13	8	0	3	4	3	2	0
2011年度	20	12	1	4	1	3	3	2
2012年度	20	10	5	2	8	3	7	2

³ 国際日本学部（大学院含）は、2013年度より中野キャンパスに全学年が移転することが決まっている。

全学部を通して申込みが多いのは、法学部である。法学部1年生の必修の授業「法律リテラシー」の申し込みは、2012年度は前期・後期合計42件あった。特に法学部の場合、通常のゼミガイダンスの内容に加えて、判例検索の要望が多い。次に多いのが商学部である。商学部は、2009年度までは法学部と同水準の申込み数であったが、商学部独自で開催している「商学部アワー⁴」という時間帯に、教員が学生に図書館員に代わり講義するようになり、申込み数は2010年度からは、一定数に落ち着くこととなった。3・4年生も在籍する国際日本学部の場合は、卒業論文を見据えた内容のオーダーになることも少なくない。上記表2中の「全」は、学部依存するクラスではなく、留学生の混合クラス等がこれにあてはまる。以下の表3は、2012年度の学部別に複数申し込みのあった授業名の一覧である。

表3 ゼミガイダンスに複数申込みのあった授業（2012年度）

前期開催			後期開催		
学部	授業名	回数	学部	授業名	回数
法	法律リテラシー★	25	法	法律リテラシー★	17
	教養基礎演習★	15		教養基礎演習★	3
	演習(論文・司法)	2	商	基礎演習★	9
商	基礎演習★	7	政経	教養演習	3
	専門演習	8	文	基礎演習★	2
政経	基本演習	2	営	演習I	5
	教養演習	10		初級英語★	3
	ACE(I・II)	4	情	日本語表現IV	3
文	基礎演習★	20	国日	Academic Writing	2
営	レポート・論文作成法	6		政治学A	2
情コミ	基礎ゼミナール	10	全	日本語作文(1年、2年)	2
	日本語表現法	10			
	問題発見ゼミナール	4			
国日	演習	12			
	日本語表現★	2			

★:必修授業

特に入学したての1年生の場合、勉強をするにも、レポートを書くにも「図書館」をまずはもっと利用させたいという教員の考えはアンケート（ゼミガイダンス毎にアンケートを回収）結果を見ると、どの学部も一致してい

⁴ 明治大学商学部の教育改革のひとつ。学生のキャリア・アップのための講座やシンポジウム・研究発表会などを開催している。商学部の学生以外でも参加可能。

るようである。今まで申込みの少なかった、政治経済学部や経営学部、情報コミュニケーション学部の増加は、2012年度に関しては、新図書館オープン効果と考えられるが、前期には、申し込みたくても希望の時間が空いておらず、申し込み自体をあきらめた教員もいたため、次年度以降も増加することが予想される。

4 今後の開催について

和泉図書館でこのような形のリテラシー教育を開始してから、約10年が経過した。筆者が関わっている2009年度から、新しい図書館が開館するというハード面の変化もあるが、開催期間ごとにアンケート（教員・図書館員）を集計し、ガイダンスの内容に改善を加えてきた。ある程度の改善を加えつつも、授業申込み数の急増に対応するための図書館員の数の限界という壁も高い。図書館員のさらなるスキルアップも当然行っていくが、今後は「ゼミガイダンスは教員の授業の一部」という原点に戻り、もっと教員がゼミガイダンスに参加するような授業を（図書館員と共に）構築していくことを検討している。2013年度には、ゼミガイダンスの開始時には、必ず教員からの講義を盛り込みたいと考えている。そうすることで、より、学生にとっては、自分が学んでいることに関連付けて、図書館で学ぶという意義を見つけられるのではないだろうか。

資料1 ゼミガイダンス申込用紙 (2012 年度後期)

和泉図書館ゼミガイダンス申込用紙 (2012年度・後期)

【申込場所】 和泉図書館1F レファレンスカウンター TEL:03-5300-1186
※直接カウンターにお申し込みください。

所 属	法・商・政経・文・営・情コミ・国際日本・その他		学部
氏 名			
連絡先			
対象授業	法・商・政経・文・営・情コミ・国際日本・その他		学部
	科目名:		
	参加人数: _____ 名 + 教員	学年: _____ 年生	
実施希望 日 時	_____ 月 _____ 日 (____) _____ 時限 (____ 時 _____ 分 開始)		

1時限 09:00～10:30 2時限 10:40～12:10 3時限 13:00～14:30 4時限 14:40～16:10
5時限 16:20～17:50 6時限 18:00～19:30 7時限 19:40～21:10

★希望される内容に○を付けてください。

	内 容	選 択	所要時間	備考(特に紹介したい資料等)
内 容	館内案内(ツアー形式) ※通常90分かかるツアーを40分で行ないます。		40分	
	検索実習① 蔵書検索: 明大OPAC ※ポータルサービスの紹介も含まれます。		25分	
	検索実習② 論文検索: CiNii (サイニイ)		15分	
	外部データベース説明 ※アクセス制限数があるため、紹介となります。		10分	検索キーワードがあれば ご指定ください
	聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞)			
	日経テレコン21(日経四紙)			
	法律判例文献情報			
	LEX/DBインターネット(判例情報)			
	その他の外部DB ()			
所用時間	合 計 (最大90分)		分	
その他	ご要望等ありましたら、ご記入ください。			

※内容・時間の打合せをさせていただきますので、申込みの際は必ずご来館下さい。
※事前来館がない場合は、キャンセルとさせていただきます場合があります。

資料2 ゼミガイダンス配布資料（通常版1枚目）

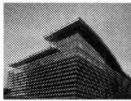
図書館活用術 ～体系的な情報収集～

授業で…

レポートの課題が出た！
プレゼン発表がある！
調べる必要がある！



図書館を使う！



キーワードを決める

調べる資料はいろいろある



調べた資料のリスト作成を忘れず！
後で参考文献として使うため

OPAC

明治大学の所蔵を確認

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

所蔵なし

所蔵あり

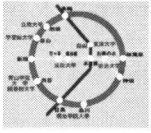
所蔵なし

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム

本学の学生・教職員は下記の大学図書館の所蔵資料を利用することができます。

青山学院大学	学習院大学	聖学院大学	東洋大学
法政大学	明治学院大学	立教大学	

大学によって、利用できる館・開館日・利用条件が異なります。
予めHPにて利用条件、資料の所蔵館を確認のうえご利用ください。



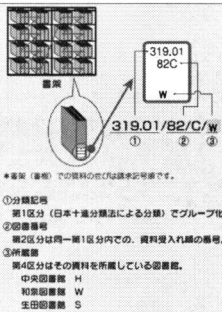
試験に、レポートに
プレゼンの資料に！
図書館をうまく
使ってください！



調べている途中で、
分からないことがあったら
図書館員に質問しよう！

日本十進分類法（NDC）9版・2次区分表

000 総記	500 技術・工学	800 言語	900 文学
010 図書館・図書学	510 建設工学・土木工事	810 日本語	910 日本文学
020 図書・書誌学	520 建築学	820 中国語	920 中国文学
030 図書・書誌学	530 機械工学・電子工学	830 英語	930 日本文学
040 一般読書・一般読書	540 電気工学・電子工学	840 フランス語	940 日本文学
050 参考資料	550 化学工学・機械工学・兵器	850 スペイン語	950 フランス文学
060 図説	560 金属工学・鉱山工学	860 イタリア語	960 イタリア文学
070 ショー・グラフィック・新聞	570 化学工学	870 ロシア語	970 イタリア文学
080 商業・金融・経済	580 電気工学	880 その他の諸言語	980 ロシア・ソビエト文学
090 商業・金融・経済	590 家政学・生活科学		990 その他の諸言語
100 哲学	600 産業		
110 哲学各論	610 産業		
120 東洋思想	620 産業		
130 西洋哲学	630 産業		
140 心理学	640 産業		
150 倫理学・道徳	650 産業		
160 宗教	660 産業		
170 神学	670 産業		
180 仏教	680 産業		
190 キリスト教	690 産業		
200 歴史	700 芸術・美術		
210 日本史	710 美術		
220 アジア史・東洋史	720 絵画・書道		
230 ヨーロッパ史・西洋史	730 彫刻		
240 アフリカ史	740 写真・印刷		
250 アメリカ史	750 工芸		
260 南アメリカ史	760 音楽・演劇		
270 オセアニア史・南極地方史	770 演劇・映画		
280 伝記	780 スポーツ・体育		
290 地理・地誌・記序	790 建築・美術		
300 社会科学	800 言語		
310 政治	810 日本語		
320 法律	820 中国語		
330 経済	830 英語		
340 財政	840 フランス語		
350 統計	850 スペイン語		
360 社会	860 イタリア語		
370 教育	870 ロシア語		
380 風俗習慣・民俗学・民族学	880 その他の諸言語		
390 国防・軍事			
400 自然科学	900 文学		
410 数学	910 日本文学		
420 物理学	920 中国文学		
430 化学	930 日本文学		
440 天文学・宇宙科学	940 日本文学		
450 地球科学・地学	950 フランス文学		
460 生物科学・一般生物学	960 イタリア文学		
470 植物学	970 イタリア文学		
480 動物学	980 ロシア・ソビエト文学		
490 医学・薬学	990 その他の諸言語		



図書館の本は、
左の分類順
に並んでいるよ！



各種イベント開催中！

和泉図書館では、様々なイベントを開催しています。
開催時間については、掲示板・HP等でお知らせしますのでご確認ください。
また、質問等はお気軽に図書館スタッフにお問い合わせ下さい。



主な開催イベント

- ・「ゼミ発表のコツ」DVD上映会
- ・「レポートの書き方」DVD上映会
- ・「読書の楽しさ」DVD上映会
- ・情報検索講習会
- ・レポートの書き方講座
- ・書評の書き方講座

ゼミガイダンス配布資料（通常版 2 枚目）

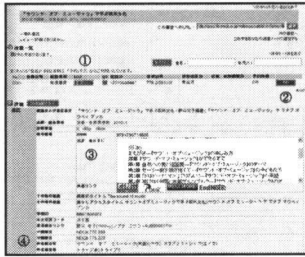
図書・論文 検索方法まとめ

●図書を探す場合

明治大学図書館 HP → [Web OPAC](#)

- ・テーマから本を探したいときはキーワードで検索
- ・検索オプション **出版年順** 画面を選択すると新しい図書の順になります。

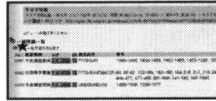
1 検索後、一覧選択



- ①「請求記号」をメモ、「マップ」で場所をチェック！
- ②「他地区資料の取寄」「貸出中資料への予約」はこれから
- ③「目次・あらすじ」で内容確認(無いものもあります)
- ④「件名増目等」では、その本のテーマが表示されています
→ クリックすると同じテーマの本の検索が可能

●雑誌を探す場合

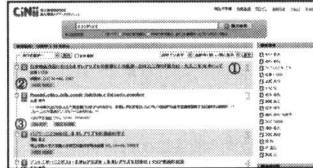
- ・明治大学図書館 HP → [Web OPAC](#)
- ・雑誌名を入力し、検索



★雑誌は同じタイトルで連続的に刊行されるので、「No.」をクリックして、読みたい雑誌を特定して下さい。図書館に無い番号もあります。）

●論文(雑誌記事)を探す場合

- ・明治大学図書館 HP → [CINI](#) → [CINI](#)
- ・論文名、キーワードなどで検索



- ①上から「論文名」「著者」「収録雑誌名」「巻(号)、ページ、発行年」
- ②その雑誌が明治大学にあるかどうか
→ [明治大学蔵書検索](#) (番号等もチェック)
- ③ [CINI PDF 随時リポジトリ](#) 画面上で論文を見ることができず(見られないものもあります)

ポータルサービス

- ポータルサービス…ポータルサービスではパソコンを通じて様々な図書館サービスを利用することができます。また、ポータルページでは貸出・予約などの自分の状態を確認できます。

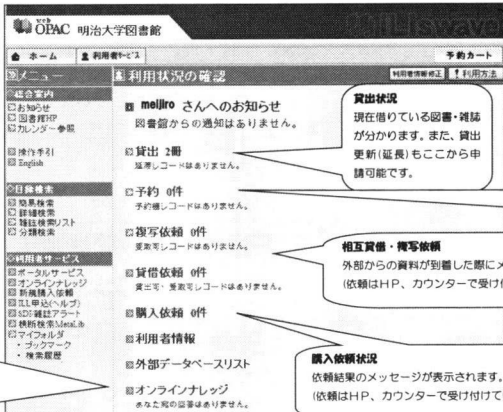
- ログイン方法……明治大学図書館 HP → 画面左下「ポータルサービス」→ 利用者 ID、パスワード入力



まずは、ログインしてみよう♪



オンラインナレッジサービス
利用者が調査依頼や図書館への要望をオンラインで直接入力し、図書館がそれに応えるサービスです。



使い終わったら…
×を押してログアウトして下さい。

予約状況
現在の予約状況がわかります。

貸出状況
現在借りている図書・雑誌が分かります。また、貸出更新(延長)もここから申請可能です。

相互貸借・複写依頼
外部からの資料が到着した際にメッセージが表示されます。(依頼はHP、カウンターで受け付けています)

購入依頼状況
依頼結果のメッセージが表示されます。(依頼はHP、カウンターで受け付けています)

■データベース

【法律情報の探し方、基本編、和泉図書館】

■法律関係の論文を探す・入手する

○法律判例文献情報 【外部データベース】

1982年[昭和57年]以降に刊行された法律・判例に関する文献および判例の書誌情報が検索できるデータベース。表示されるのは書誌情報であり、全文ではない。雑誌論文のほか図書や新聞記事も検索対象。

○アクセス方法:

図書館HP>データベース>外部データベース>
法律判例文献情報→ログイン
共通認証システム・学生番号と入学時に申請したパスワード入力
→法律判例文献情報 をクリック



■判例を探す・入手する

○裁判所ウェブサイト「裁判例情報」 【インターネット】

裁判所の判例情報を検索するシステムで、6種類の判例（最高裁判例、高裁判例、下級裁判例、行政事件裁判例、労働事件裁判例、知的財産裁判例）の検索が可能。

特長: 判例の収録が、LEX/DBインターネットより速い

○アクセス方法:

裁判所ウェブサイト (http://www.courts.go.jp) にアクセス
→「裁判例情報」ボタンをクリック

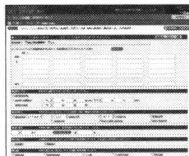


○LEX/DBインターネット 【外部データベース】※VPN不可

1875年[明治8年]の大審院判決から今日までの判例の書誌情報・全文情報・図表情報を掲載しており、全分野・全裁判所・全時代を横断的に検索できるデータベース。毎週更新
特長: 寄附関係や引用判例・被引用判例の相互リンク、解説論文情報である評釈が掲載されている。「裁判例情報」よりも収録数が多い。

○アクセス方法:

図書館HP>データベース>外部データベース>
LEX/DBインターネット→ログイン
共通認証システム・学生番号と入学時に申請したパスワード入力
→判例総合検索 をクリック



※外部データベースを利用する場合、学生の方はMINDインターネット講習会受講が必要。

※自宅等外から外部データベースに接続する場合は、VPN接続の設定が必要。

詳細は外部データベース利用サービスのページを参照（学外接続不可のデータベースもあります）。

参考文献: 『リーガル・リサーチ』第3版（日本評論社、2008）

2012年7月23日
和泉図書館リファレンス担当更新

■法律情報の探し方

【法律情報の探し方、基本編、和泉図書館】

■法律関係の分類番号（日本十進分類法9版[N09 版]による）

320 法律	320.9 法令集				
321 法学	321.1 法哲学				
322 法制史	322.1 日本法制史	322.2 東洋法制史	322.3 西洋法制史		
323 憲法	323.1 日本の憲法	323.9 行政法			
324 民法	324.1 民法総論	324.2 物権法、財産法	324.3 担保物権法	324.4 債権総論	324.5 債権各論
325 商法	325.1 民法総論	325.2 会社法	325.3 銀行法	325.4 保険法	325.5 海商法
326 刑法	326.1 刑法総論	326.2 刑法各論	326.3 刑事政策	326.4 刑罰	326.5 刑罰
327 刑法	327.1 刑法制度	327.2 刑事訴訟法	327.3 強制執行法	327.4 家事審判法	327.5 民事訴訟法
328 刑法	328.1 刑法制度	328.2 刑事訴訟法	328.3 少年法	328.4 外国の司法制度	
329 国際法	329.1 国際法の主体	329.2 国際法の客体	329.3 国際公法	329.4 国際私法	329.5 国際紛争処理
	329.6 裁判官制度	329.7 裁判官制度	329.8 裁判官制度	329.9 裁判官制度	

■辞書・事典・法令集

書名	和泉図書館
六法	『六法全書』『判例六法』 など
加除式法令集	『現行日本法規』 『加除式法令集』など
用語辞典	『有斐閣法律用語辞典』 など
条約集	『国際条約集』など

■判例評釈・解説

書名	和泉図書館
『〇〇判例百選』 (別冊ジュリスト)	各主題分類番号 1F 171.171.171.171
『重要判例解説』 (ジュリスト増刊)	R320/42//N 1F 171.171.171.171
『最高裁判所の判例』 (ジュリスト増刊)	320.9/5//N 3F 開架書架
『私法判例リマークス』 (法律時報別冊)	R324/30//N 1F 171.171.171.171
『主要民事判例解説』 (判例タイムズ増刊)	R324/22//N 1F 171.171.171.171

■法律雑誌 (2F 雑誌エリア)

『ジュリスト』『法律雑誌』『判例タイムズ』『法学セミナー』『法律教育』など。

※「明治大学の法律情報」 図書館HP> 探す・読める> 法律情報の探し方 に中央図書館所蔵の法令集・判例集リスト、法律関係雑誌リストあり。

■判例集 (2F 雑誌エリア)

『最高裁判所民事判例集』(民集)
『最高裁判所刑事判例集』(刑集)

◆文献の略語について◆

法律雑誌や判例集の名前は、よく省略されて表示されています。『判例百選』『重要判例解説』『私法判例リマークス』などの巻末に代表的な略語例が掲載されているので、分からない際は参照してください。また、網羅的なものとして、『リーガル・リサーチ』第3版（日本評論社、2008/R320/122/C/W）の付録「法文文献等の出典の表示方法」があります。

例: 「判例」→「判例時報」
「民集」→「最高裁判所民事判例集」
「刑集」→「最高裁判所刑事判例集」